

平成28年臨時総代会開催

平成28年10月21日午前10時両総土地改良区会議室において、総代178名出席のもと農林水産省関東農政局並びに千葉県農林水産部より多数の来賓にご臨席いただき、臨時総代会を開催いたしました。



理事長挨拶 〈要約〉



理事長 森 英介

今回の総代の皆様は昭和27年7月に両総土地改良区発足以来、17代目の総代となります。本日は総代改選後、初めての総代会であり、総代会は土地改良区としての意志決定を行う最高の議決機関でありますので何卒、よろしくお願い申し上げます。

現在、農業・農村を取り巻く状況は、過疎化による農業従事者の高齢化や担い手不足に加え、地域活力の低下など課題が山積しております。両総土地改良区といたしましては、国営両総農業水利事業が完了し主要施設は整備されましたが、農地の大区画化、老朽化した施設の改修等には遅れがみられます。今後は農業の競争力強化、農村地域の国土強靱化のための大区画化、汎用化、水路のパイプライン化、老朽化した農業水利施設の長寿命化・耐震対策並びに関係市町村等の営農計画の策定等の推進に皆様と共に全力で取り組んで参ります。

なお、平成28年度第2次補正予算が決定され、農林水産関係補正予算は、総額5,739億円であり、その内、農業農村整備事業関連は、1,752億円となったことをご報告申し上げます。

最後に平成30年4月より、現在の4出張所から香取・山武・長生の3支所体制に移行となりますので、皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

ご来賓挨拶 〈要約〉



農林水産省関東農政局

利根川水系土地改良調査管理事務所 次長 相場 千秋様

農業農村整備事業につきましては、先日、平成29年度概算要求として、対前年比120%の3,550億円を財務省に対し要求しているところでございます。本年度予算につきましては回復帰途にありますが平成21年度と比べますと未だ1,000億円ほど少ない状況にございます。引き続き増額要請をして参ることになると思われまます。

両総地区につきましては平成26年度に国営事業が完了し、優良且つ大規模な営農が行われております。利根調といたしましても今年度・来年度の2ヶ年の予定で一部機場につきまして機能診断を行うこととしたところでございます。

また、本年6月に閣議決定されました骨太の方針において、土地改良事業については高付加価値化、生産コストの削減、これらに資する農地の大区画化、汎用化、維持保全を一層推進することとされております。こちらにつきましても引き続き農政のモデルとなるよう取組みに力を入れていただきたくお願い申し上げます。

今後も引き続き地域の皆様方との連携を密に、現場の実情に即して、皆様方の要望に出来るだけの確に答えられるような業務運営に努めて参りたいと考えておりますのでよろしくお願い申し上げます。



千葉県農林水産部 次長 井上 俊也様

千葉県では、本県農業の体質強化に向けて、農業水利施設の長寿命化対策の推進や大区画化による基盤整備の推進等、様々な施策や事業を展開しているところですが、競争力の高い農業を実現するためには、整備された施設や、農地を活用して「儲かる農業」への転換が必要であります。そのため経営経費節減に向けた地域の担い手への農地集積は、農農政においても重要な課題となっております。

こうした中、農地集積を進めるため農地中間管理機構におきまして、現地に推進員を配置するなど関係機関と連携して、担い手や農地の出し手に対してきめ細やかな制度説明に努めているところでございます。

さて、国営関連の県営事業といたしましては「かんがい排水事業両総茂原南地区」をはじめ「両総南条支線地区」「両総多古支線地区」の外、「経営体育成基盤整備事業篠本新井地区」「森戸地区」が着工いたしまして、今年度は「かんがい排水事業両総茂原西部地区」「基幹水利施設ストックマネジメント事業松尾地区」が着工の予定であります。計画されております残りの県営支線のパイプライン化も含めまして、今後とも地域の意向を十分に踏まえ計画的な事業の推進に取り組んで参ります。